

Indonesia Weekly

2019年9月9日



(対象期間：2019/9/2～2019/9/6)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2019年9月6日)



【株式市場】

週の前半は軟調に推移しました。その後、香港の政情不安の後退や英国の「合意無き離脱」シナリオが遠のいたことなどから株式市場は上昇しましたが、週間では下落となりました。インドネシア政府は2日、ニッケルの未加工鉱石の輸出禁止措置の再開時期を、2020年1月1日に前倒しすると発表し、価格の高騰期待から鉱業株は大幅上昇となりました。セクター別では、鉱業、基礎産業・石油などが上昇した一方で、インフラ・公益、建設・不動産などは下落しました。

2019/8/30	2019/9/6	変化率
6,328.47	6,308.95	-0.31%

【債券市場】 インドネシア国債10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年9月6日)



【債券市場】

週の前半は、翌週の国債入札を意識したポジション調整の売りなどが見られました。半ば以降は、通貨ルピアが底堅く推移していることや、世界的にリスク回避姿勢が後退したことなどを好感して外国人投資家からの買いが見られ、インドネシア10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。2日に発表された8月の消費者物価指数（CPI）上昇率は、前年同月比+3.49%と2か月連続の上昇となりました。

2019/8/30	2019/9/6	変化幅
7.332	7.324	-0.008

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年9月6日)



【為替市場】

週の前半は上値の重い展開となりましたが、半ば以降は香港の政情不安の後退や米中の貿易協議再開への期待を受けて、底堅く推移しました。週間ではルピアは対米ドル、対円ともに上昇しました。8月の外貨準備高は、ルピア相場が堅調だったことなどを背景に、1,264億米ドルと前月の1,259億米ドルから増加しました。

2019/8/30	2019/9/6	変化率
0.7509	0.7590	+1.08%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

＜当資料に関してご留意いただきたい事項＞ ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

